



向陽中だより



本校生徒会キャラクター
「ひま SUN」

令和7年度第10号
令和7年1月8日
杉並区立向陽中学校
校長 高津 憲

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人

「冬空の下、大志を抱き、未来を切り拓く」

校長 高津 憲

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は向陽中学校にとって、新たな挑戦と成長の年となりました。生徒の皆さんは、勉学に励み、部活動や委員会活動、学校行事に積極的に参加し、それぞれの個性を輝かせました。教職員一同、皆さんのひたむきな努力と成長を心から誇りに思っています。

さて、新しい年を迎えるにあたり、私は皆さんに改めて「大志を抱け」という言葉を贈りたいと思います。この言葉は明治時代に札幌農学校（現在の北海道大学）の教頭であったウィリアム・スミス・クラーク博士が、学生たちに送った有名な言葉です。

「Boys, be ambitious.」という短い言葉には、若者たちへの熱い期待と激励が込められています。クラーク博士がこの言葉を贈ったのは、当時の日本が近代化に向けて大きく舵を切ろうとしていた時代でした。彼は、若者たちが大きな志を持ち、自らの力で未来を切り拓いていくことを強く願っていたのです。

現代社会は、当時とは比較にならないほど複雑で変化の激しい時代です。グローバル化、情報技術の急速な発展、環境問題など、私たちは多くの課題に直面しています。しかし、このような時代だからこそ、私たちは「大志を抱き」、未来を切り拓いていく必要があります。

「大志」とは、単に大きな目標を持つことではありません。それは、社会をより良くしたい、人々の役に立ちたいという強い思いであり、困難に立ち向かう勇気と、最後まで諦めない粘り強さを持つことです。皆さんはどのような「大志」を抱いているの

でしょうか。どのような社会を作りたいでしょうか。もしかしたら、まだ具体的な「大志」が見つからない人もいるかもしれません。それでも構いません。大切なのは常にアンテナを張り、様々なことに興味を持ち、自分自身の可能性を信じることです。本を読んだり、ニュースを見たり、いろいろな人と話したりする中で、自分の心を揺さぶる何かが見つかるかもしれません。そして、その何かを深く掘り下げていくうちに、自分だけの「大志」が見えてくるはずです。

「大志」を実現するためには、努力が必要です。楽な道ばかりではありません。時には、壁にぶつかり、挫折を味わうこともあるでしょう。しかし、そのような時こそ、「大志」を思い出してください。なぜ、自分がこの目標を目指しているのか、何のために努力しているのかを再確認することで、再び立ち上がる勇気が湧いてくるはずです。

向陽中学校は、皆さんが「大志」を抱き、未来を切り拓いていくための学びの場です。私たちは皆さんが自らの可能性を最大限に引き出し、社会に貢献できる人材へと成長できるよう、サポートしていきます。冬の寒さに負けず、心に熱い「大志」を抱き、新たな一歩を踏み出しましょう。



【杉並区駅伝大会】

12月14日(日)に済美山運動場にて「杉並区中学校対抗駅伝大会2025」が開催されました。

向陽中学校では、計2回の校内選考会を経て、男女計16名の選手を選出しました。選手たちは、勉強や部活動などで忙しい合間を縫って、約3週間に渡り、練習に取り組んできました。特に3年生は、受験勉強の追い込みの中でも、毎回の練習で先頭に立ち、1・2年生を引っ張ってくれました。1・2年生もそれぞれが自己の記録を伸ばせるよう、お互いに切磋琢磨し練習に励みました。中には、全体練習が終了した後も、納得がいくまで自主練習する選手もいました。

当日、選手として参加はしないものの、一緒に練習したり、タイム計測を手伝ってくれたりする生徒もいました。美術部は、応援用のぼりを制作し、選手たちに力を与えてくれました。

当日は、冷たい雨が降り、気温も低く、コンディションとして決して良いとは言えない状況でしたが、選手たちは、その厳しい状況の中でも、ずぶ濡れになりながら最後まで諦めずにタスキをつなぎました。当日走った選手だけでなく、補欠の生徒たちも、朝早くから集まり、一生懸命応援するなど、チーム一丸で戦い抜くことができました。参加した中学生の走りは、観ている観客の方たちにも勇気や感動を与えたのではないかと思います。

駅伝大会を通じて、体力の保持増進はもちろん、最後まで粘り強くやり抜くことや、継続することで力がつくことなど、大切なことが実感できたと思います。今回の駅伝大会を通じて得たことを、今後の学校生活に活かしてもらいたいと思います。

【大会結果】男子13位/女子22位

【チューリップ球根贈呈式】

向陽中学校ボランティア部は、

- 自分たちの学校を過ごしやすい環境に整える活動を通して、自校を大切にしている気持ちや奉仕の精神を育てること。
 - 地域の方との交流やイベント参加などを通して、地域に貢献するとともに、自分たちが地域の役に立っているという自己有用感を育てること。
- を活動目標に、学校農園での野菜栽培や草むしりなどの校内環境整備、地域行事へのボランティア参加

などの活動に取り組んでいます。

さて、今回ご紹介する「チューリップ贈呈」は、向陽中学校・高井戸第三小学校・永福小学校の3校の交流を深める取組として、ここ数年継続して行っているものです。今年度は、12月4日(水)に高井戸第三小学校、12日(金)に永福小学校にて行いました。贈呈式では、6色のチューリップの球根を、高井戸第三小学校環境委員会、永福小学校栽培委員会の児童に手渡し、その一部をプランターに植え付けました。

向陽中学校の生徒は、事前に球根の植え付け方法について学び、当日は、植える向きや深さなどを分かりやすく伝えながら、小学生と一緒に楽しく作業しました。ボランティア部員の中には、以前に各小学校の環境委員会・栽培委員会の活動に参加していた経験を覚えている生徒もあり、3校のつながりを改めて実感する機会となりました。

チューリップという身近な素材ではありますが、自然や命の大切さについて考え、役割を意識して主体的に行動する貴重な経験となりました。今後の学校生活や地域との関わりの中でも、この経験が活かされることを期待しています。

【全国中学ビブリオバトル】

東京大会準優勝：2年男子

【杉並区読書感想文コンクール】

佳作：2年女子

佳作：1年男子

【部活動大会結果】

【バレーボール部】

第78回杉並区スポーツ祭：男子の部第3位

【卓球部】

杉並区中学校卓球新人大会：男子団体第3位

【バドミントン部】

東京都中学生冬季バドミントン杉並区予選大会：

男子シングルス第1位：2年男子

男子ダブルス第3位：2年男子ペア

女子ダブルス第3位：2年女子ペア

【硬式テニス部】

東京23区中学校新人テニス選手権大会：

男子団体第5位